



2023年7月31日

(対象期間：2022年6月1日～2023年5月31日)

2022年度

環境経営レポート



株式会社 大伸建設工業

〒421-0113 静岡県静岡市駿河区下川原4丁目24-3

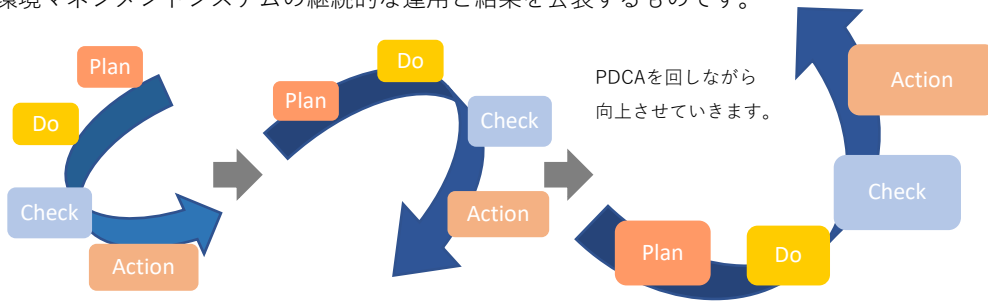
TEL 054-259-6633 FAX 054-257-2864



エコアクション21とは

エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムです。事業者がその経営の中で自主的に環境保全の取組みを進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら制定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」といい、このための事業所内の体制や手続き等の仕組みを「環境マネジメントシステム」といいます。

この環境経営レポートは、Plan（計画の策定）、Do（計画の実施）、Check（取組状況の確認・評価）、Action（全体の評価と見直し）のPDCAサイクルを基本とした、当社の環境マネジメントシステムの継続的な運用と結果を公表するものです。



PDCAを回しながら向上させていきます。

2013年1月にエコアクション21の認証・登録をされてから丸10年となりました。これからも創意工夫を凝らし、地域社会より与えられた使命を果たしながら、地域の発展に貢献することができる企業となれるよう、社員一同尽力してまいります。

今年度も事務所の植え込みできれいに咲いた紫陽花 ▶ 毎年グラデーションがとてもきれいです



このレポートの対象期間は、2022年6月1日から2023年5月31日までの1年間です（2022年度）



Table with 2 columns: Page Number and Content Title. Includes items like '1 当社の概要', '2 対象範囲', '3 環境経営方針', etc.



1 当社の概要

ABOUT

株式会社大伸建設工業は1968年に管工事専門業者として創立し、その後土木分野に進出して、主に静岡市の社会資本整備に携わってきました。

これからも積み重ねてきた実績と経験、技術力を礎に、新たな発想と向上心を持って時代の流れに適応しながら『まちづくり』や『地域の安全・安心』に寄与できる企業でありたいと考えています。



▶ 事業所名 株式会社 大伸建設工業

▶ 代表者 代表取締役 佐々木 太一

▶ 所在地 本 社：静岡県静岡市駿河区下川原4丁目24番3号
資材置場：静岡県静岡市駿河区下川原4丁目26番1号

▶ 従業員数 12名

▶ 売上高 286百万円（2022年度）

▶ 環境管理責任者 代表取締役 佐々木 太一

▶ 担当者 深澤 加奈子

▶ 連絡先 TEL： 054（259）6633

FAX： 054（257）2864

EMAIL： info@taishin-kensetsu.co.jp

URL： <https://taishin-kensetsu.co.jp/>



▶ 事業内容 土木工事、水道施設工事

▶ 建設業許可 静岡県知事許可（特-3）第19号

▶ 許可業種 土木一式、とび・土工、石、管、鋼構造物、舗装、水道施設

▶ 許可年月日 2021年11月25日（有効期限2026年11月24日）

（自社運搬のみ）

▶ 産業廃棄物収集運搬許可 静岡県知事 第02201098613号

▶ 廃棄物の種類 廃プラスチック類、金属くず、がれき類、木くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

▶ 許可年月日 2022年10月16日（有効期限2027年10月15日）



▲社屋



▲倉庫



▲置場

▶ 2022年度の主な工事

葵区竜南一丁目配水管布設替工事

葵区籠上配水本管布設替工事

他、給水管漏水修繕、
鉛管取替修繕、給水引込工事等

▶ 技術者

1級土木施工管理技士 4名

2級土木施工管理技士 3名

1級管工事施工管理技士 2名

2級管工事施工管理技士 2名

2級舗装施工管理技術者 1名

1級配管技能士 1名

2級配管技能士 2名

給水装置工事主任技術者 3名

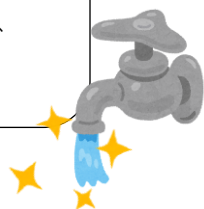
下水道排水設備工事責任技術者 3名

2級建設業経理士 2名





安心安全な水道水を供給するため、
古くなった水道管を
新しい管に交換しています。
工事へのご理解ご協力をいただき、
ありがとうございます。



当社は主に、上下水道に関わる公共工事を請け負っています。
2022年度は、配水管を新しいものに取り替える工事を行いました。

配水管▶配水池から利用者の近くまで水を届ける管



古くなった管を撤去



新しい管を布設



▲管布設工事の様子



閉庁時（夜間・休日）の路上漏水修繕業務
にも携わっています。（当番制）
2022年度は3件ありました。

◀漏水修繕工事の様子



また、災害時には市の災害活動協力業者として
要請に応じた応急対策活動に参加します。

2022年度は台風15号による
被害での市内断水の際、
応急の給水活動に参加しました。



当社の社員は以下のような講習を受講し作業に従事しています。

- ・給水装置工事配管技術者
- ・職長・安全衛生責任者教育
- ・土止め支保工作業主任者
- ・地山掘削作業主任者
- ・玉掛
- ・車両系建設機械運転
- ・小型移動式クレーン運転 等



▶ 対象範囲



▶ 適用する事業所

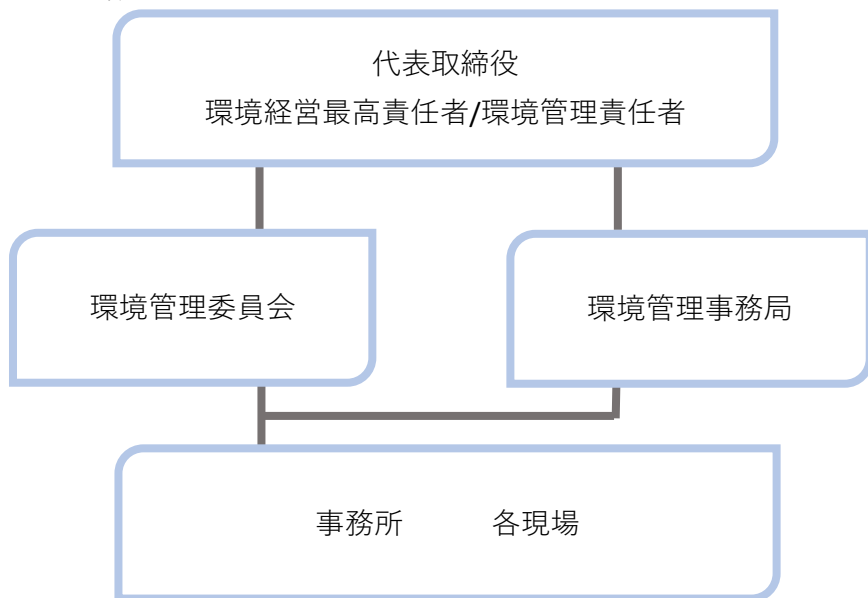


▶ 適用する構成員



▶ レポート対象期間 2022年度 (2022年6月1日～2023年5月31日)

▶ 対象組織



▶ 役割分担

代表者 環境マネジメントを計画的に実施するための内容を確認・決定します。

- ・ 経営における課題とチャンスの明確化
- ・ 環境経営方針・環境経営目標の策定
- ・ 実施体制の構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備
- ・ 全体の取組状況に関して評価・見直しを行い、必要あれば改定を指示
- ・ 必要な責任者の任命

環境管理責任者 環境経営システムを推進・維持します。

- ・ 経営資源の合理的・効果的な運用を図り、環境経営に関する委員会組織を運営
- ・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を全社員へ周知
- ・ 環境活動レポートの確認

環境管理委員会

環境管理責任者を委員長として、環境マネジメントシステム及び環境改善に関する会議を随時実施します。

環境管理事務局 環境管理責任者を全面的に補佐します。

- ・ 環境活動実績、データの集計
- ・ 環境活動レポートの作成

全従業員 環境経営方針を理解し、環境活動に取り組みます。

- ・ 環境活動への自主的、積極的な参加
- ・ チェックリストの記録
- ・ 報告書の提出



3 株式会社大伸建設工業 環境経営方針

PLAN

基本理念

株式会社大伸建設工業は、環境問題が経営の重要課題のひとつであるとし、循環型社会の実現のため企業活動の全域において継続的に取り組み、企業市民として社会的責任を果たしてまいります。

行動指針

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、以下の環境保全活動を推進します。

- 事業活動の全領域で、安全を図り、省エネルギー・省資源・リサイクル等に配慮した活動・サービスを提供し、環境にやさしい施工に取り組みます。
 - 節電やエコドライブ等によるCO₂排出量削減を推進します。
 - 廃棄物の削減・リサイクルを推進します。
 - ミス・クレームの削減を図ります。
 - 清掃活動・ボランティア活動・災害時の応急対策活動等を通じて地域に貢献します。
 - 人員確保対策に取り組みます。
- 環境汚染を未然に防止するとともに、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進します。
- 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、環境管理レベルの向上を図ります。
- 環境教育・訓練の実施により、すべての構成員に環境経営方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- この環境方針は、社外の人にも公開します。

2012年 3月 1日 制定

2021年 3月 1日 改定

株式会社 大伸建設工業
代表取締役 佐々木 太一



4 環境経営目標 PLAN

当社では以下の目標を掲げて環境経営活動に取り組んでいます。

2022年度（2022年6月1日～2023年5月31日）

CO2排出量削減			
取組部署	基準値	2022年度目標(数値)	中期目標
事務所	2020年度 7,649.1 kg-CO ₂ /年	2020年度比 ▲2%(7,496.1)	2021年度 ▲1% 2022年度 ▲2% 2023年度 ▲3%
現場	2018年度 201.7 kg-CO ₂ /(売上)百万円	2018年度比 ▲4%(193.6)	2021年度 ▲3% 2022年度 ▲4% 2023年度 ▲5%
廃棄物排出量削減			
事務所 コピー用紙使用枚数	2020年度 34,867枚	2020年度比 ▲2%(34,170)	2021年度 ▲1% 2022年度 ▲2% 2023年度 ▲3%
現場 混合廃棄物の削減	2020年度 6.8 t	2020年度比 ▲2%(6.66)	2021年度 ▲1% 2022年度 ▲2% 2023年度 ▲3%
ミス・クレームの削減			
全部署	—	0件	2021年度 0件 2022年度 0件 2023年度 0件
人員確保対策			
全部署	—	1件以上の対策	2021年度 1件以上 2022年度 1件以上 2023年度 1件以上

※電力に関する排出係数は、0.426（2018年度中部電力調整後排出係数）を使用しています。

※水使用量については、使用量が少ないため目標から外し維持管理としています。

※化学物質の削減については、使用量が少ないため目標から外し適切に管理しています。



5 2022年度 環境経営計画と対応するSDGsの目標

DO

電力使用量の削減	SDGs	担当	実施時期
・不使用場所の消灯、不要箇所の減灯	 	全部署	通年
・LED蛍光灯への順次入替え		事務所	通年
・節電対応型機種への変更並びに導入の検討		事務所	都度

燃料消費量の削減	SDGs	担当	実施時期
・エコドライブの徹底		全部署	通年
・ルートの事前確認、同一目的地への乗り合わせ		全部署	通年
・適正な車両整備(オイル交換、タイヤの空気圧)		全部署	都度
・新車両がある場合、環境配慮型の検討		全部署	都度
・重機の燃料にGTLを検討		現場	都度

産業廃棄物排出量の削減	SDGs	担当	実施時期
・種類ごとに収集、分別	 	全部署	通年
・コンテナボックスへの一般ゴミ投入禁止		現場	通年
・古くなったタオルはウエスにして使用		全部署	通年
・書類のデータでの配布、保存を推奨		全部署	通年
・ミスコピー、ミスプリント用紙の再利用		全部署	通年
・古切手収集		事務所	通年
・マイボトル、マイカップの利用	全部署	通年	

上下水道使用量の削減	担当	実施時期
・手洗い、清掃、洗車等、水道使用時の節水	全部署	通年
・水の止め忘れをチェック(手洗い場、トイレ)	全部署	通年

化学物質の適切な使用	SDGs	担当	実施時期
・紛失防止、漏洩防止、盗難防止措置		現場	通年
・SDS一覧の配置(事務所・現場事務所)		全部署	通年

グリーン購入の推進	SDGs	担当	実施時期
・環境への負荷が少ないものを進んで購入	 	事務所	通年

ミス・クレームの低減	SDGs	担当	実施時期
・現場、置き場周辺の安全確保		現場	通年
・車両や重機の不具合や異音はすぐに報告する		現場	都度
・ミス・クレームのデータ収集・情報共有		全部署	通年

清掃活動・地域貢献活動の推進	SDGs	担当	実施時期
・事務所、現場周辺での清掃活動・地域貢献活動	  	全部署	都度
・所属団体を通じたボランティア活動		全部署	都度
・災害時の応急対策活動		現場	都度

人員確保対策	SDGs	担当	実施時期
・ホームページの活用		事務所	通年
・仕事内容や取得できる資格等の情報発信		事務所	通年
・職場環境への配慮		全部署	都度

新型コロナウイルス感染防止対策	SDGs	担当	実施時期
・健康観察、手洗い、消毒、換気の徹底		全部署	流行期間中
・マスクの着用、対面する人との気をつける		全部署	流行期間中
・感染症対策の掲示		全部署	流行期間中

※新型コロナウイルス感染防止対策については、2022年度までとします。

SDGsとは

「持続可能な開発目標」= Sustainable Development Goals、略してSDGs(エスディー・ジーズ)は、2030年までの国際目標です。人々がより豊かで幸せな未来を手に入れられる国際社会の実現を目指し、17の目標(ゴール)で構成されています。

私たちの社会活動がよりよい未来に貢献できるように、環境経営計画とともに、SDGsについても意識して取り組んでいきたいと考えています。



6 環境経営目標の達成状況（実績）

CHECK

2022年度の目標と実績

目標管理	2022年度目標値	実績値	目標値対比	評価	
CO2排出量kg-CO2 (事務所)	7,496.1kg-CO2	5,806.7	▲22.5%	○	
	内訳(実績把握のみ)		実績値	前年比	実績把握
	電気	4,257.4	▲15.9%	○	
	ガス	1.9	▲56.8%	○	
	灯油	811.7	▲17.4%	○	
	ガソリン	735.6	▲22.8%	○	
軽油	0	—	○		
目標管理	2022年度目標値	実績値	目標値対比	評価	
CO2排出量削減(現場) 排出量/売上高(百万円)	193.6kg-CO2/百万円	198.3 kg-CO2/百万円	+2.4%	×	
廃棄物排出量削減 コピー用紙使用枚数	34,170枚	34,004枚	▲0.5%	○	
廃棄物排出量削減 混合廃棄物の削減	6.66t	4.73 t	▲29.0%	○	
ミス・クレーム削減 報告件数	0件	0件	±0件	○	
人員確保対策 件数	1件以上	3件	—	○	

※電力に関する排出係数は、0.426（2018年度中部電力調整後排出係数）を使用して計算しています。

維持(データ)管理	2020年度	2021年度	2022年度	前年比
CO2排出量(現場) kg-CO2	44,888.3	54,575.0	56,702.8	+3.9%
廃棄物排出量 (事務所) t	0.612	0.602	0.600	▲0.3%
廃棄物排出量 (現場) t	336.4	646.6	377.3	▲41.6%
水使用量 m ³	217.0	135.5	158.0	+16.6%
グリーン購入品目数 品目(累計)	38	39	44	+5
車両燃費(通勤車両) km/ℓ	12.8	13.3	13.7	+0.4
車両燃費(工事車両) km/ℓ	12	11.0	11.1	+0.1

今年度の二酸化炭素排出量は、事務所では目標値に対して2割以上減少し目標を達成することができましたが、現場では売上当たりの目標値に対して2.4%多く、目標を達成できませんでした。事務所の排出量の減少は2021年度に入れ替えたエアコンに拠るところが大きいのと思われます。新型の電化製品の省エネ性能は凄まじく、昨年度20%近く下がった消費電力量が今年度はさらに15%下がりました。冬季の暖房も、ファンヒーターの台数を減らしエアコンと併用することで灯油の使用量を抑えることができました。

コピー用紙使用枚数は前年より増えましたが、目標を達成することができました。混合廃棄物の年間廃棄量についても、前年度の7割程となり、現場全体の排出量としても、前年度に比べ4割以上減少しました。リサイクル率はほぼ100%です。

ミス・クレーム報告件数は0件で、目標を達成できました。

人員確保対策としては3件行いました。

※今年度の実績の詳細については次ページ以降に記載します。



7 2022年度の環境経営計画の取組結果とその評価

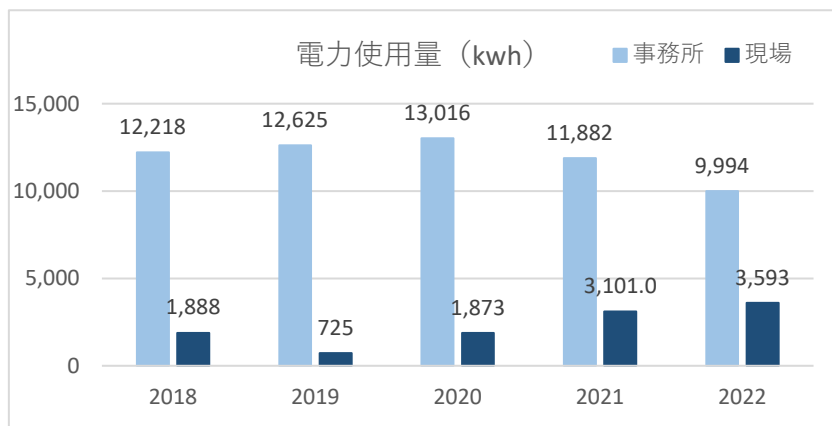
CHECK

◎できている ○改善されてきている ▲現状維持 ×できていない ー事例なし

I. CO2排出量の削減

電力使用量の削減

2022年度の環境経営計画	評価	事務所ではエアコン入替えのため使用量が減少を続けています。現場では増加傾向ですが、熱中症対策と食中毒防止のため現場事務所でエアコンを稼働させています。
・不使用場所の消灯、不要箇所の減灯	◎	
・LED蛍光灯への順次入替え	ー	
・節電対応型機種への変更並びに導入の検討	ー	
直近5年間の推移		



電力使用量削減の活動



▲節電表示



▲新自販機 (省エネ機能)
(2023年6月に撤去)

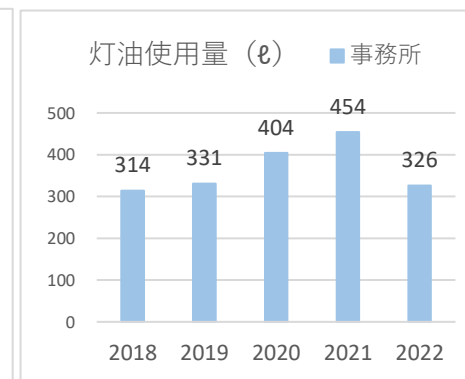
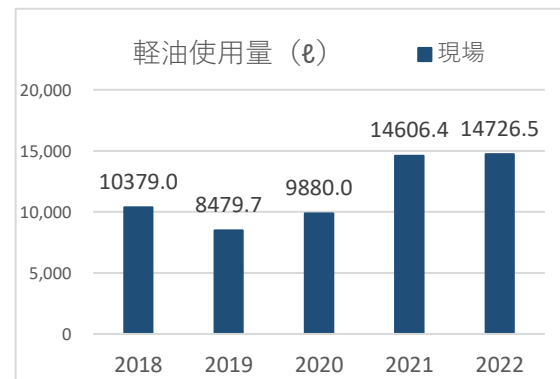
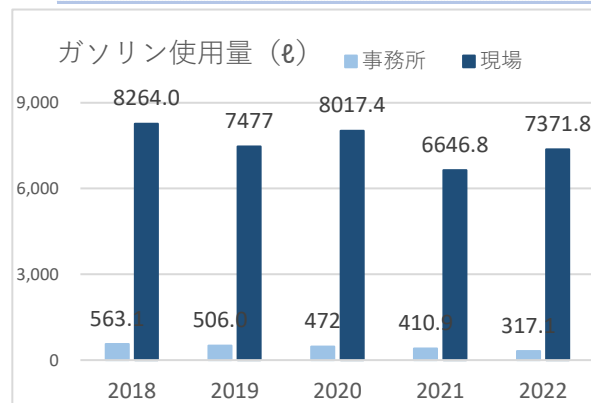
次年度の取組み

事務所のCO2排出量のほとんどが消費電力由来です。今後も旧型電化製品の買い替えを進めていきます。また、従業員の健康増進も兼ねて、出先での階段の利用を推奨していきます。



燃料消費量の削減

2022年度環境経営計画	評価	ガソリンスタンドの給油カードを作成し、指定のスタンドではなく現場の最寄り給油できるようになりました。灯油についてはファンヒーターの配置と台数を見直し、暖房にエアコンを併用しました。GTL燃料については使用にはまだ至っていません。
・エコドライブの徹底	◎	
・ルートの事前確認、同一目的地への乗り合わせ	◎	
・適正な車両整備(オイル交換、タイヤの空気圧)	◎	
・新車両がある場合、環境配慮型の検討	ー	
・重機の燃料にGTLを検討	▲	
・施工期間の短縮	◎	
直近5年間の推移		



燃料使用量削減の活動

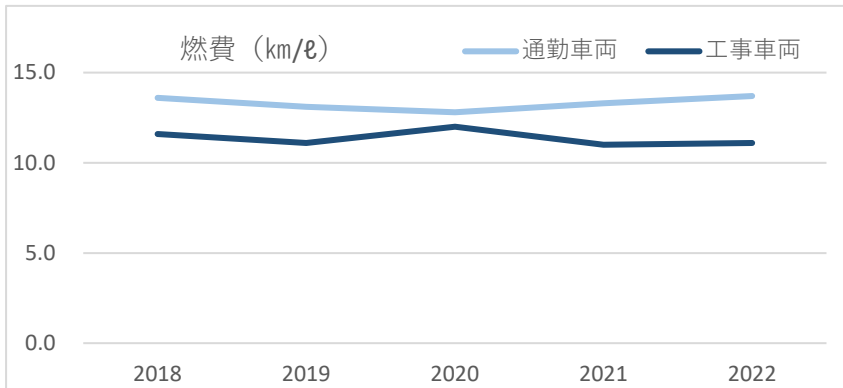
GTL燃料とは

環境負荷の少ない、軽油代替燃料。軽油対比でCO2排出量を約8.5%削減することができます。建設機械や重機等、公道を走らない車両で使用することができます。



次年度取組

ガソリン・軽油については、今後もエコドライブによる燃費の向上を以て実質的な削減に取り組んでいきます。また、環境負荷の少ないGTL燃料の重機への使用についても、引き続き検討しています。ガスは使用量が少ないため実績把握のみとします。



車両燃費

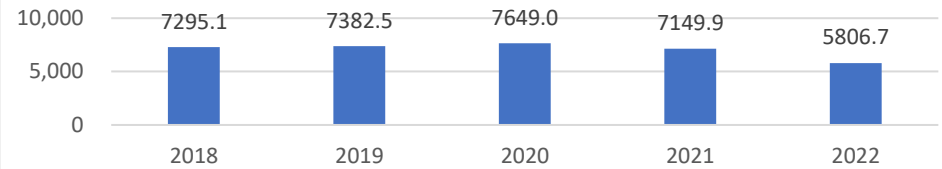
上のグラフは工事車両(トラック4台)、通勤車両(11台)の燃費推移です。2022年度は前年度に比べわずかに向上しました。エコドライブの定着により、安定した燃費を維持できていると考えます。今後、車両の乗車年数により全体的に燃費は落ちてくると思われますが、下降がなるべくゆるやかになるよう、適正な点検整備を行い、環境に配慮した安全運転を心がけます。

次年度取組み

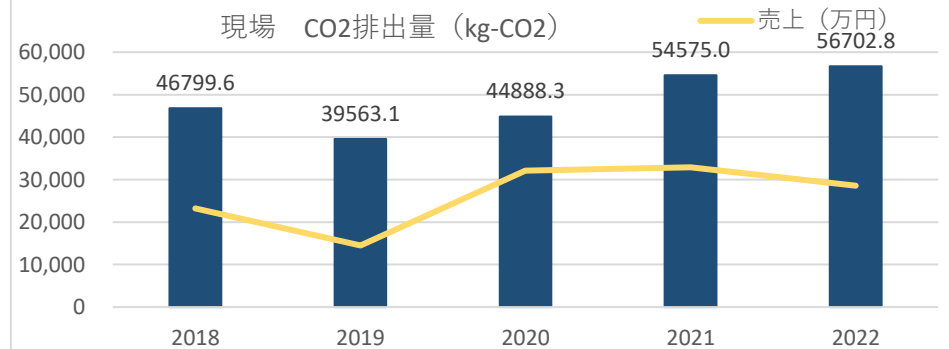
今後もエコドライブを意識し、安全で環境にやさしい運転を心がけます。また、異音や不具合等あれば報告するよう周知し、毎月のエコドライブチェックシートにも記入欄を設けていきます。車両入替・新車購入の際には、環境性能の高い車両を選択します。

目標管理

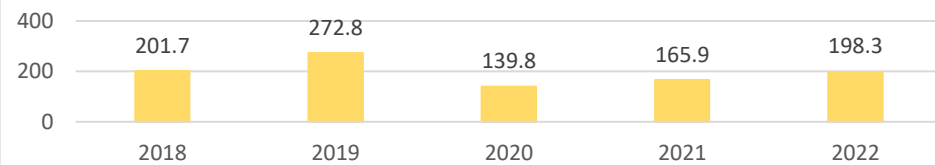
事務所 CO2排出量 (kg-CO2)



現場 CO2排出量 (kg-CO2)



CO2排出量/売上 (百万) (kg-CO2/100万円)



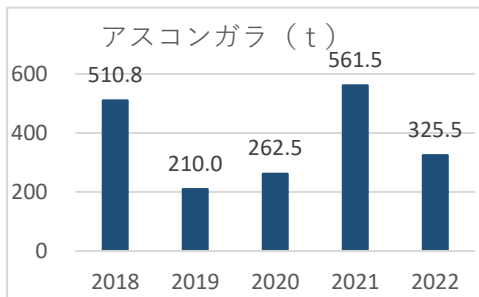
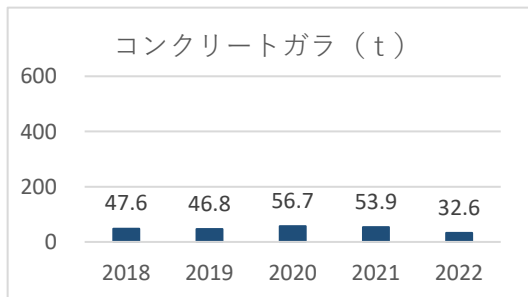
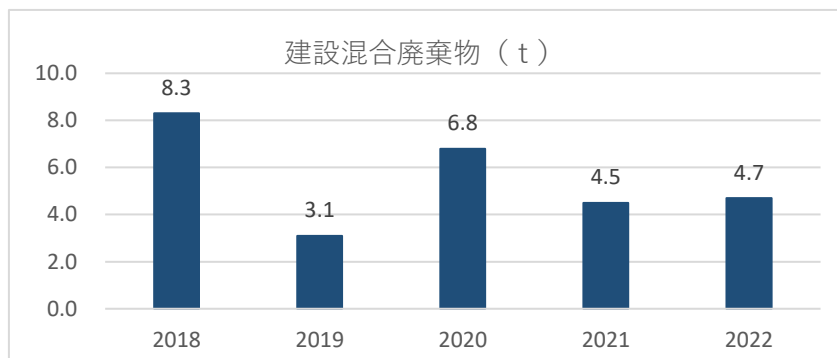
CO2	今年度の目標値	今年度実績値	次年度の目標値
事務所	7,496.1kg-CO2	5,806.7kg-CO2	7,419.6kg-CO2
現場	193.6kg-CO2/百万円	198.3kg-CO2/百万円	191.6kg-CO2/百万円



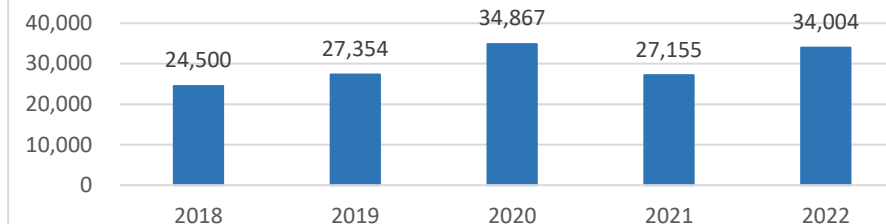
Ⅱ. 産業廃棄物排出量の削減



2022年度環境経営計画	評価	
・種類ごとに収集、分別	◎	事業ゴミ以外の一般廃棄物や、段ボールなどのリサイクル可能なものは産廃コンテナに捨てないよう分別しています。段ボールはリサイクル業者が回収し、新聞や雑紙は近隣のリサイクルボックスを利用しています。不要になった用紙は裏紙として社内書類の印刷やメモ用紙等に再利用しています。2022年度は前年度に比べ使用枚数が多くなりましたが、目標は達成できました。
・コンテナボックスへの一般ゴミ投入禁止	◎	
・古くなったタオルはウエスにして使用	◎	
・事務所、倉庫内、置き場の整理整頓	◎	
・書類コピー・プリント前の確認の徹底	◎	
・ミスコピー・プリント用紙の再利用	◎	
・古切手収集	◎	
・マイボトル・マイカップの利用	◎	
直近5年間の推移		



コピー用紙使用枚数 (枚)



コピー用紙使用枚数

今年度は使用枚数が増えました。現場では工事に関わる各方面への書類提出の他、近隣にお住まいの方への工事のお知らせ等、紙の使用頻度は高いです。専用紙のため数値には反映されませんが、電子マニフェストを利用する、社内書類は裏紙を使用する等、無駄のない紙の使用に努めます。



▲裏紙を再利用しています

廃棄物	今年度の目標値	今年度実績値	次年度の目標値
全部署	コピー用紙 34,170枚	34,004枚	33,821枚
現場	混合廃棄物 6.66t	4.73t	6.60t


産業廃棄物排出量削減 次年度の取組

建設混合廃棄物の削減については、事業ゴミと事業ゴミ以外との分別を継続します。他の廃棄物についても、リサイクルに出せるものは積極的に分別し、近隣のリサイクルボックス等を利用しながらゴミの総量を減らしていきます。

コピー用紙使用枚数の削減については、今後も印刷ミス対策や社内書類の裏紙利用、データでの回覧・配布を行います。

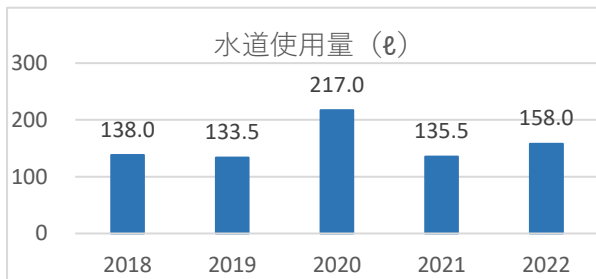


III. 上下水道使用量の削減


2022年度環境経営計画		評価	市内断水発生時、被災した従業員に水道水を供給しました。
・手洗い、清掃、洗車等、水道使用時の節水		◎	節水を継続します。
・水の止め忘れをチェック(手洗い場、トイレ)		◎	




▲節水表示



IV. 化学物質の適切な使用

2022年度環境経営計画		評価	定期的な整理整頓で適切に管理できています。今後も継続します。
・紛失防止・漏洩防止・盗難防止措置		◎	
・SDS一覧の配置(事務所・現場事務所)		◎	

V. グリーン購入の推進

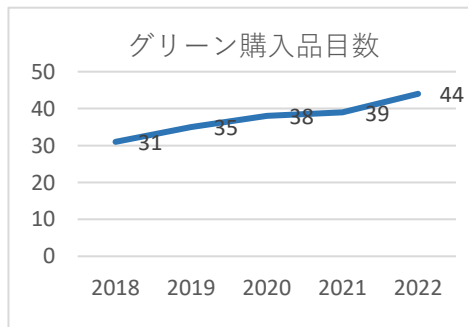
2022年度環境経営計画		評価	継続中
・環境への負荷が少ないものを選んで購入		◎	文具等、新たに5件購入

グリーン購入	これまでの購入品目	今年度	合計
全部署	39件	5件	44件




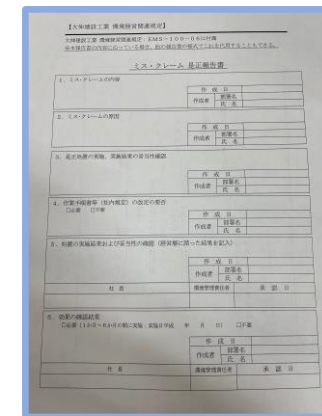
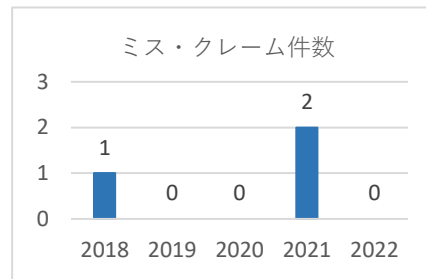
▲修正液等を購入

(グリーン購入法に適合)



VI. ミス・クレームの低減

2022年度環境経営計画		評価	対象となるミス・クレームはありませんでした。
・現場・置場周辺の安全確保		◎	これまでの発生事案については、報告書により情報共有しています。
・車両や重機のの不具合や異音はすぐに報告する		◎	
・車両や重機の点検・修理記録簿を作成		◎	
・ミス・クレームのデータ収集・情報共有		◎	
目標管理			



発生後に記入する問題点の是正報告書▲

ミス・クレーム	今年度の目標値	今年度実績値	次年度の目標値
全部署	0件	0件	0件

ミス・クレームの低減 次年度の取組

次年度も年間のミス・クレーム0件を維持できるよう、再発防止のための情報共有、対策の周知に努めます。



VII. 清掃活動・地域貢献活動の推進



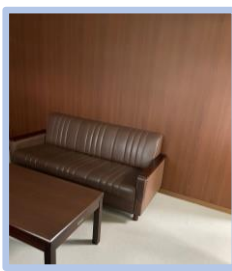
2022年度環境経営計画		評価	評価
・事務所・現場周辺での清掃活動		◎	今年度は台風15号による被害に伴って、応急の災害対応に参加しました。断水地域に給水車で出勤し、住民の方々への給水作業を行いました。また、現場では定期的な清掃活動を続けています。
・事務所・現場周辺での地域貢献活動		◎	
・所属団体を通じたボランティア活動		—	
・災害時の応急対策活動		◎	

活動	現場	事務所	災害	合計
全部署	14件	3件	1件	18件

VIII. 人員確保対策



2022年度環境経営計画		評価	評価
・ホームページの活用		◎	事務所のトイレを和式から洋式に。また、応接室の壁紙を張替えしました。夏場の現場作業のため、ファン付きの上着、ベストの着用を始めました。
・仕事内容や取得できる資格等の情報発信		◎	
・人材派遣等の利用		—	
2022年度の実績			



◀事務所2階のトイレはウォシュレットに。節水も期待できます。応接室の壁紙や床のマットは傷んでいましたが、貼り替えてとても明るくなりました。

人員確保	今年度の目標値	今年度実績値	次年度の目標値
全部署	1件以上	3件	1件以上



(株)大伸建設工業

◀ホームページ

人員確保対策 次年度の取組

働きやすい職場環境をハード面、ソフト面共に整えます。次年度からの取組みとして、福利厚生面の拡充を追加しました。また、ふじのくに健康づくり事業所として、検診の実施率や生活習慣の向上にも取り組んでいます。

建設業の担い手不足は深刻です。国や自治体、業界団体での取り組みも参考に、有用な制度等あれば利用します。



IX. 新型コロナウイルス感染防止対策



2022年度環境経営計画		評価	評価
・健康観察、手洗い、消毒、換気の徹底		◎	マスクの着用が任意になる等、感染対策の緩和が進んでおり、次年度からは活動計画から外します。当社では今後もひとりひとりが体調管理に努めます。
・感染症対策の掲示		◎	
・対面時のマスクの着用 (3/12まで)		◎	
・感染時の対応の周知		◎	



8 2023年度の環境経営計画

次年度は以下の環境経営計画に取り組みます。
2023年度（2023年6月1日～2024年5月31日）

電力使用量の削減	担当	実施時期
・ 不使用場所の消灯、不要箇所の減灯	全部署	通年
・ LED蛍光灯への順次入替え	事務所	都度
・ 節電対応型機種への変更並びに導入の検討	事務所	都度
・ 階段利用の推奨 NEW!	全部署	通年

燃料消費量の削減	担当	実施時期
・ エコドライブの徹底	全部署	通年
・ ルートの事前確認、同一目的地への乗り合わせ	全部署	通年
・ 適正な車両整備(オイル交換、タイヤの空気圧)	全部署	都度
・ 重機の燃料にGTLを検討	現場	都度
・ 新車両がある場合、環境配慮型の検討	全部署	都度
・ 施工期間の短縮	現場	都度

産業廃棄物排出量の削減	担当	実施時期
・ 種類ごとに収集、分別	全部署	通年
・ コンテナボックスへの一般ゴミ投入禁止	現場	通年
・ 古くなったタオルはウエスにして使用	全部署	通年
・ ミスコピー、ミスプリント用紙の再利用	全部署	通年
・ 書類のデータでの配布、保存を推奨	全部署	通年
・ 古切手の収集	事務所	通年
・ マイボトル、マイカップの利用	全部署	通年

上下水道使用量の削減	担当	実施時期
・ 手洗い、清掃、洗車等、水道使用時の節水	全部署	通年
・ 水の止め忘れをチェック（手洗い場、トイレ）	全部署	通年

化学物質の適切な使用	担当	実施時期
・ 紛失防止、漏洩防止、盗難防止措置	現場	通年
・ SDS一覧の配置（事務所・現場事務所）	全部署	通年

ACTION

グリーン購入の推進	担当	実施時期
・ 環境への負荷が少ないものを進んで購入	事務所	通年

ミス・クレームの低減	担当	実施時期
・ ミス・クレームの報告、対策の情報共有	全部署	通年
・ 現場、置き場周辺の安全確保	現場	通年
・ 車両や重機の不具合や異音はすぐに報告する	現場	都度

清掃活動・地域貢献活動の推進	担当	実施時期
・ 事務所、現場周辺での清掃活動・地域貢献活動	全部署	都度
・ 所属団体を通じたボランティア活動	全部署	都度
・ 災害時等の応急対策活動	現場	都度

人員確保対策	担当	実施時期
・ ホームページの活用	事務所	通年
・ 仕事内容や取得できる資格等の情報発信	事務所	通年
・ 職場環境への配慮	全部署	通年
・ 福利厚生への拡充 NEW!	全部署	通年

※この他、社員からの提案を募り今後の活動に加えていきます。

次年度の環境経営目標は以下の通りです。

2023年度の環境経営目標

目標項目	基準値	目標値	基準値比
CO2排出量削減（事務所）	7,649.1kg-CO2	7,419.6kg-CO2	▲3%
CO2排出量削減（現場）	201.7kg-CO2/売上(百万)	191.6kg-CO2/売上(百万)	▲5%
廃棄物排出量削減（コピー用紙）	34,867枚	33,821枚	▲3%
廃棄物排出量削減（混合廃棄物）	6.8 t	6.6 t	▲3%
ミス・クレームの削減	—	0件	—
人員確保対策	—	1件以上	—



9 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

CHECK

当社に適用される環境関連法規に関する違反はありませんでした。

また、利害関係者からの苦情や指摘もなく、訴訟も同様ありません。

2023年5月15日

水道関係	当社の状況	要求事項	対応
下水道法	0.3m ³ /日程度の排水	排水基準の遵守	対応済み
騒音関係	当社の状況	要求事項	対応
騒音規制法	特定建設作業の該当なし	①事前の届け出 ②作業場所の敷地の境界線において85DBを超えない ③作業時刻、1日の作業時間、作業期間の規制 ④日曜日、その他の休日に行わない。	該当作業があった場合対応
	業務用エアコンの室外機(2.5kw,2.0kw)は対象外 特定施設なし	事前の届け出(7.5kw以上)第2種区域 昼(午前8時～午後6時)55DB 朝夕(午前6時～午前8時、午後6時～午後10時)50DB 夜間(午後10時～翌午前6時)45DB 設置の届け出(3.75kw以上)	該当せず
県生活環境の保全に関する条例			
振動関係	当社の状況	要求事項	対応
振動規制法	該当なし	①事前の届け出 ②作業場所の敷地の境界線において75DBを超えない ③作業時刻、1日の作業時間、作業期間の規制 ④日曜日、その他の休日に行わない。	該当作業があった場合対応
廃棄物関係	当社の状況	要求事項	対応
廃棄物処理法	排出事業者 廃プラは㈱総合美装リサイクルに委託	産廃管理票交付状況報告書の提出(年1回6月末まで) 別途「産廃運用管理規定」による	対応済み
	水銀使用製品廃棄物 ㈱静岡資源に委託	処理・事業場保管・委託の各基準の遵守	
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	排出事業者	①産廃管理責任者の専任 ②委託先の実地確認(優良事業者の場合HP等の確認でも可)	対応済み
薬品関係	当社の状況	要求事項	対応
消防法	該当なし	少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱届出書	該当しない
フロン排出抑制法	業務用エアコン2台	廃棄の際には専用のフロン回収行程管理票を使用する 簡易点検の実施(四半期に一度)	対応済み
化学物質管理促進法(PRR法)	該当しない ごく少量の対象物質有	従業員が21人以上となり、かつ年間使用料が1トンとなった場合提出、適正な管理を行う	届出不要 適正に管理中
リサイクル関係	当社の状況	要求事項	対応
家電リサイクル法	テレビ、エアコン 洗濯機、冷蔵庫	廃棄の際には適切に引渡し、料金を支払う	対応済み
小型家電リサイクル法	小型電子機器	自治体・小売業者に分別して排出、認定業者に引き渡し	対応済み
自動車リサイクル法	所有自動車15台 (うちディーゼル車6台) 自動車エアコン	リサイクル料金の支払い	対応済み (原則下取りのため破棄せず)
建設リサイクル法	該当あり	必要な場合届け出	対応済み
その他の要求事項	当社の状況	要求事項	対応
災害時における応急対策活動に関する協力協定	協力会社	①道路、河川、海岸、急傾斜地崩壊防止施設、漁港などの施設の応急対策業務の実施(静岡建設業協会) ②水道及び下水道施設の復旧、公共施設並びに避難施設等への仮設給排水設備設置(静岡市水道局指定工事店協同組合)	要請があった際に 対応
安倍薬科川河川関連工事等に係る漁業協同組合との協定	協定締結	安倍川、薬科川流域の自然環境と生物の保護	該当工事が あった場合対応
静岡県盛土等の規制に関する条例	土木施工業者 (土砂の運搬)	土砂運搬元の土地の利用状況等の調査 規定する物質が含まれていた場合、土壌調査を実施する	対応済み

10 代表者による全体評価と見直し・指示

ACTION

見直しに関する情報

ヒアリングチェック・法令遵守 組織の環境パフォーマンス	○	良好
苦情を含む利害関係者からの 重要な情報	○	特になし
環境経営目標の達成	○	CO2 排出量削減(事務所)
	×	CO2 排出量削減(現場)
	○	コピー用紙使用枚数の削減
	○	混合廃棄物の削減
	○	ミス・クレームの削減
○	人員確保対策	
問題点の是正措置・予防措置の状況	○	特になし
環境関連法規を含む周囲の状況の変化	○	2022年7月1日より静岡県盛土等の規制に関する条例施行
前回までの見直し結果に対する フォローアップ、改善のための提案、その他	○	次年度の活動として、「階段利用の推奨」「福利厚生 の拡充」を新たに追加しました。

代表者による全体評価

2023年5月28日

全体的にシステムは良好に運営されていると考えます。

現場CO2排出量は微増していますが、売上から見えて来ない現場での重機等の稼働率は前年度を上回っているため、やむを得ないものと考えます。

近年の異常気象で、特に夏場では現場は過酷な条件下での作業が強いられています。

環境に配慮しながら社員全員が安心して働くことができる職場を皆で作って行きたいと思います。

代表者による見直し・指示結果

- ①環境経営方針・環境経営目標・実施体制について変更はありません。
- ②環境経営計画について、「階段利用の推奨」「福利厚生
の拡充」を追加します。





2022年度 環境経営レポート
株式会社 大伸建設工業